

箕面市の 財政公表

令和6(2024)年度決算は、9月8日から10月20日に開かれた市議会定例会で審議の結果、適正であると認定を受けました。

令和6年度決算では、固定資産税を始めとした市税収入の増加などの影響で経常収支比率が改善しています。加えて、市債残高が減少したことにより将来負担比率*が2年連続でマイナスの値になるなど、財政状況の改善が見られるものの、物価情勢などを考慮すると楽観視できません。

今後も徹底した改革に取り組み、健全な行財政運営を確立していきます。

※将来負担比率とは、家計に例えると「年収に対するローン残高など将来支払わなければならない額の割合」を示しています。

市の財政状況は、分かりやすく「見える化」して市ホームページ(QRコード)で公開しています。

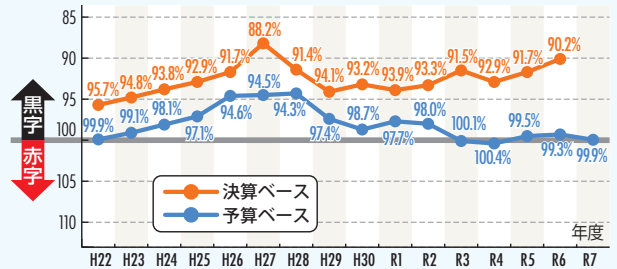


経常収支のバランス 経常収支比率

90.2%(-1.5ポイント)

固定資産税を始めとした市税収入の増加などにより、前年度から1.5ポイント改善しました。

家計に例えると、「毎月の給料で、毎月の生活費が賄えているか？」を示しています(経常収支比率が100%を超えると、家計では赤字の状態です)。

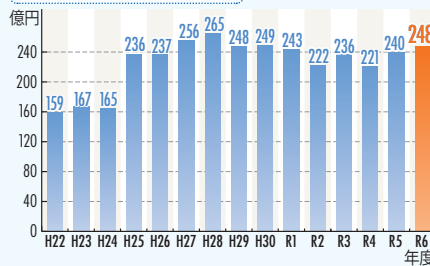


基金の状況 基金残高(普通会計)

248億1300万円(+8億2200万円、+3.4%)

公共用地先行取得事業債の繰上償還のために基金を活用した一方、今後の財政需要に備え、未来子ども基金や新市立病院整備基金などに積み立てを行った結果、基金残高は約8億円増加しました。

家計に例えると「貯金」です。

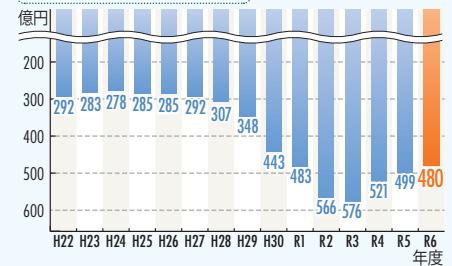


市債の状況 市債残高(普通会計)

479億8800万円(-18億8800万円、-3.8%)

公共用地先行取得事業債の繰上償還を実施したことなどにより、市債残高は約19億円減少しました。

家計に例えると「ローン」です。



まちのラジオ局
タッキー816発

みのおNOW

黒板アート日本一の高校生を講師に 子どもたちの力作が完成!

箕面市では、「多様な人々が交わり創造する協奏のまちづくり」をテーマにした箕面アートフェスを毎年開催しています。今年の同フェスは「黒板アートワークショップ」。黒板アート甲子園®で日本一に輝いた経験のある好文学園女子高等学校黒板アートチーム元祖の生徒が講師を務め、市内の小・中・高校生たちと一緒に黒板アートの制作に取り組みました。

講座(全5回)の最終日となった10月11日、箕面文化・交流センター南館の会場には、完成した2点の黒板アート作品が並びました。いずれもテーマ性豊かで、小学6年生の参加者は「水滴の表現に力を入れました」と話していました。

この黒板アート作品は、10月25日～11月2日に開催された



「第68回箕面市民展」で展示され、多くの来場者の興味を引いていました。その後、各生涯学習センターで巡回展示され、現在は箕面市役所1階本館ロビーに展示されています。ぜひご覧ください。

他の記事も掲載中!
詳しくはこちらから!



みのおNOW

